



2025年6月13日

各位

会社名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード: 186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

個別業績における営業外費用及び特別損失の計上、 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして重要性の観点から公表を行っておりませんが、2025年4月期(2024年5月1日~2025年4月30日)の通期個別業績(日本基準)におきまして、営業外費用及び特別損失を計上したことから、前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年4月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2024年4月期)	百万円 0	百万円 △1,479	百万円 △6,356	百万円 △8,004	円 銭 △88.44
当期実績値(B) (2025年4月期)	2	△1,925	△15,395	△23,408	△205.18
増減額 (B-A)	1	△445	△9,039	△15,404	—
増減率(%)	149.8	—	—	—	—

2. 差異が生じた理由

売上高に関しましては、主に講演活動による収入の増加により、前期比で増加いたしました。

営業利益に関しましては、主に組織拡大に伴い人件費や関連する一般管理費が増加したため、前期比で損失が増加いたしました。経常利益に関しましては、為替相場の変動に伴い為替差損(営業外費用)2,087百万円(前期は2,798百万円の為替差益(営業外収益))を計上したことに加え、前期に計上した債務保証損失引当金戻入額の剥落及び貸倒引当金繰入額10,784百万円(前期は9,515百万円)の計上等により、前期比で損失が増加いたしました。当期純利益に関しましては、主に関係会社株式評価損(特別損失)7,041百万円(前期は計上なし)の計上により、前期比で損失が増加いたしました。

なお、貸倒引当金繰入額及び関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以上